

令和元年度事業報告書

1 全 般

- (1) 本年度は、法人及び施設運営に大きな支障をきたす事項、法令違反等に抵触する事項等はありませんでした。一方、施設内外の改修工事等の実施及び新型コロナウイルスの感染防止対策を最優先としたことで、行事等の一部を中止せざるを得ぬ状況となりました。新型コロナウイルス感染防止対策につきましては、次年度も、その都度の状況に応じた感染防止対策の継続を図り、法人・施設運営に大きな支障をきたさないよう期すところです。
- (2) 前年度から本年度にかけて、総経費約 2 億 7 千万円余を計上し、施設内外のリニューアル、各種設備類の更新、入所者居室多床室の仕切り、職員休憩室の増設、非常用発電設備の新設等の工事を行いました。細部は別紙 1 のとおりです。

2 法 人

(1) 組織運営

- ア 法人の運営は特に問題等もなく実施でき、また理事会及び評議員会の任務も円滑に実施することができました。理事会は 7 回(うち開催決議省略 1 回)、評議員会は 2 回とそれぞれ開催しました。
- イ 役員等の委嘱を次のとおり行いました。
 - ・法人としての組織運営能力の一層の充実を図るため相談役を設けました。
 - ・6 月には、現理事及び監事が任期満了となり、評議員会の承認を経て理事 6 名及び監事 2 名を令和 3 年 6 月までの任期として委嘱しました。
 - ・3 月には、理事 1 名(施設長兼務)の逝去により、評議員会の承認を経て後任理事 1 名を委嘱しました。

(2) 諸情報の開示

電子開示システムによる法人現況、決算内容等の開示を行い、また法人ホームページでも開示を行いました。

(3) 社会福祉充実計画

計画 3 年度目の本年度は、約 1 億 1 千万円(うち県・市補助金約 3 千 4 百万円)を使用しました。細部は別紙 2 のとおりです。

(4) 人事・給与等

- ア 令和 2 年 2 月、施設長が逝去したことにより、施設次長を施設長に配置しました。
- イ 介護職員の採用は、引き続き厳しい状況が続いており、ハローワークへの継続求人あるいは求人説明会への参加を行いました。採用は 1 名(退職 3 名)に止まり期待する求人数には至っておらず、引き続き、介護職員の確保については幅広く求める必要があります。
- ウ 介護職員については、国の介護職員処遇改善施策を引き続き実施しております。10 月からは、国の新規施策である特定処遇改善加算が適用され、法人として全職員を対象に支給を開始しました。

(5) 災害等対策

ア 事業運営に支障をきたす災害の発生はなく、法人、施設の所在する地区とは、引き続き「災害時における相互協力に関する覚書」にもとづき連携を図っています。

イ 非常用発電設備

1月～3月にかけて、松江市の補助を受け、約2千3百万円を使用し停電時の施設ライフラインを確保するための非常用発電設備を設置しました。これにより災害等発生時の対処機能の大幅な向上が図れました。

(6) 実地指導

2月に松江市福祉部福祉総務課により施設に対し実地指導が行われました。指導の結果、不適正な業務の指摘はなく、概ね適正に施設諸業務が実施されていることが確認されました。

(7) その他

ア 社会福祉法人による利用者負担額軽減制度は、23名に対して適用(法人負担額約1,893千円)しました。

イ 平成11年より松江市から無償借地として使用していた法人・施設用地が本年より有償借地(年額2,068千円)となりました。

ウ 平成11年、行政独立法人福祉医療機構より借入をしていた施設建設資金約2億円の返済が本年5月をもって完済となりました。

エ 相談役配置及び休憩室等増設による建物面積の増加により定款の変更を行いました。

3 施設

(1) 運営

ア 年間利用率は、特養95.7%(30年度94.5%) 短期入所19.0%(30年度56.2%)であり、特養利用率は30年度とほぼ同率の状況でしたが、短期利用率が大幅に減となりました。これは施設リニューアル工事による居室利用制限及び新型コロナウイルス感染防止のための居室利用制限が大きく影響したことによるものです。

イ 特養(定員:50名)入所者は期間中9名、退所者は13名でした。入所者のうち要介護度4及び5は入所者総数の約94%、平均年齢は88歳と重度化、高齢化の状況となっています。また看取りは3名でした。

ウ 10月消費税増税により介護報酬の改正がおこなわれ運営規程の改正を行いました。

エ 人命、設備に著しい影響を及ぼす事故等の発生はありませんでした。

オ 職員の業務効率化として、介護、看護記録ICTシステムを導入(約5,999千円)し運用を開始しました。導入成果は十分な効果が認められています。

カ 長期使用による老朽化が顕著な車両、備品類の更新(約6,594千円)を行いました。

キ 施設内外のリニューアル等の実施及び1月以降の新型コロナウイルス感染防止対策のため、夏まつりを含め諸行事等を中止しました。

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策

1月以降、行政からの指導等も踏まえて施設内における各種予防対策の徹底、諸行事の中止、部外者の立ち入り制限、家族面会の禁止を行う他、職員へのマスク提供等を行いました。利用者及び職員の感染者の発生あるいは濃厚接触者の発生はなく、次

年度も引き続き各種予防対策の徹底を継続します。

(3) 人事

ア 本年度は正職員 3 名の退職 1 名の採用（共に介護職員）でした。また施設所在地区の協力を得て、介護補助職として 2 名を同地区より採用しました。

イ 不祥事の発生(虐待等)あるいは処分の対象となる事案の発生はありませんでした。

(4) 施設改修等

法人の計画により前年度に引き続き施設内外の改修及び設備の更新等を実施しました。この結果、利用者様の生活環境の改善と老朽設備の刷新を大きく図ることができました。細部は別紙 1 のとおりです。

(5) 地域交流

地域交流として 4~7 月の間、前年同様、地元中学校の福祉体験学習の受け入れ、ボランティアグループの施設訪問による演芸等を行いました。8 月以降は施設内外の改修工事及び新型コロナウイルス感染防止対策のため、夏まつりを含め諸行事等中止しました。

施設改修工事等

1 期間：平成 31 年 1 月 ～ 令和 2 年 3 月

2 内容

工 事 等	金 額 (千円:税込み)	内 訳	備 考
外部改修	46,980 (8%)	・外壁塗装・補修 ・屋上シーリング・防水 ・カーポート移設 ・正面玄関車寄せ上部補修 ・庭園整備 ・駐車場ライン再塗装 ・ベランダ水栓設置	
内部改修 (建築・設備)	107,677 (8%&10%)	・施設内全域壁、床の張替等 ・1 階ロビー改修 ・一般浴室・特浴室改修 ・照明 LED 化 ・電話設備更新 ・ナースコール更新 ・誘導灯・非常照明更新 ・施設内全域給湯・給水管更新 ・循環ろ過装置更新	追加・変更 ・事務室床張替 ・ロビー材料変更 ・2 階ロビー床張替 ・浴室内壁・床材 変更 ・事務室横植栽替え 他
職員休憩所 増築	18,576 (8%)	2F：休憩所(36 m ²) 1F：倉庫(36 m ²)	
エレベータ ー取替	18,079 (8%)	人員用 EV 取替	
4 人部屋仕 切り	47,190 (10%)	4 人部屋(11 室)のベット毎個別仕切 り	・県補助金(10 室分) 29,360 千円
非常用自家 発電装置新 設	28,710 (10%)	LP ガス方式 給電先：給水、生活用照明・電気、防 火用電源、空調の一部他	・市補助金 4,590 千円

計 267,212

社会福祉充実計画実施状況(3 か年度目 : R1 年度)

(単位 : 千円)

事業名	計画内容	計画概算	使用額	使用内容等	備 考
職員給与等改善	・基本給の増額分 (5,000 円/月)	2,000	1,680	平均 21 名(月一人 平均 5,000 円)	・対象 : パート以外 ・5,000 円/円 : 29 年度 3,500 円
	・夜勤手当増額分 (2,000 円/回)	1,460	1,460	年間 730 回	31 年度 1,500 円
		計 3,460	3,140		
職員育成	職員の各種研修 受講等の費用助 成	80	132	ケアマネ専門研修 者 1 名 各種研修受講者 4 名	
介護職員の増員	介護職員 3 名の 採用経費(基本 給、手当)	15,045	5,022	・29 年度採用×1 名分(26 月分) ・1 年度採用×1 名分(6 月分)	基本+資格 4,102 基本+地域 920
職員の勤務環境改善(Ⅱ)	・ナースコール 更新 ・電話設備更新	11,247	9,355		
利用料減免	低所得利用者(30 人)に対する社会 福祉法人軽減負 担	1,800	1,893	本入所 23 名	
利用者の生活環境改善(Ⅰ)	・多床室の間仕 切り	8,800	47,190	11 室	県補助 : 29,360 千円
	・居室・共有部 の内装改修	27,850	13,953		
	・浴室改修	12,000	4,657		H30 年度計画分
非常時対策	非常用発電装置 の設置	20,628	23,430		市補助 : 4,590 千円
計		100,910 (88,910)	108,772 (104,115)		()は R1 計画額

○職員の勤務環境改善(Ⅱ)、利用者の生活環境改善(Ⅰ)及び非常時対策各使用額は、契約額(税込み)。